



2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社スポーツフィールド 上場取引所 東
 コード番号 7080 URL https://www.sports-f.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)篠崎 克志
 問合せ先責任者 (役職名)上席執行役員 (氏名)亀田 高一郎 (TEL) 03-5225-1481
 定時株主総会開催予定日 2026年3月27日 配当支払開始予定日 2026年3月30日
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績(2025年1月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	4,784	24.4	1,078	23.4	1,082	24.1	783	31.6
2024年12月期	3,845	12.5	874	0.5	872	0.3	595	△2.1

(注) 包括利益 2025年12月期 783百万円(31.6%) 2024年12月期 595百万円(△2.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	107.28	105.54	37.4	32.8	22.5
2024年12月期	81.21	79.16	37.8	34.8	22.7

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 一百万円 2024年12月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	3,885	2,430	62.6	331.50
2024年12月期	2,707	1,763	65.1	241.89

(参考) 自己資本 2025年12月期 2,430百万円 2024年12月期 1,763百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	863	△578	△211	1,778
2024年12月期	619	△49	△322	1,704

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	0.00	—	16.00	16.00	116	19.7	7.4
2025年12月期	—	0.00	—	21.00	21.00	153	19.6	7.3
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	23.00	23.00		19.8	

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,470	35.2	1,300	20.5	1,300	20.1	845	7.8	115.70

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社(社名)株式会社リンドスポーツ、除外 1社(社名)ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期	7,482,240株	2024年12月期	7,440,960株
② 期末自己株式数	2025年12月期	149,996株	2024年12月期	149,996株
③ 期中平均株式数	2025年12月期	7,303,571株	2024年12月期	7,330,732株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績(2025年1月1日~2025年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	4,425	15.3	1,112	26.1	1,113	26.5	826	36.9
2024年12月期	3,837	12.6	882	1.3	880	1.1	603	△1.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年12月期	113.22		111.38					
2024年12月期	82.37		80.29					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2025年12月期	3,541		2,482		70.1	338.59		
2024年12月期	2,713		1,772		65.3	243.07		

(参考) 自己資本 2025年12月期 2,482百万円 2024年12月期 1,772百万円

(個別業績の前期実績値との差異理由)

当事業年度においては、企業の採用ニーズを取り込むことにより、スポーツ人財採用支援事業(新卒者向けイベント・新卒者向け人財紹介・既卒者向け人財紹介)すべてにおいて過去最高の売上高となりました。人員体制強化のための新卒採用社員・中途採用社員の入社により人件費は増加、既存オフィスの増床等により地代・家賃は増加、また、登録者獲得のための広告投資等により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の成長が費用の増加分を上回ったことにより、前期実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(企業結合等関係)	11
(収益認識関係)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

当連結会計年度（2025年1月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えました。一方で、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクに加え、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に注意する状況は依然として続いております。

人材サービス業界において、有効求人倍率は底堅く推移いたしました。新卒採用市場においては、厚生労働省と文部科学省による「令和8年3月大学等卒業予定者の就職内定状況調査」では、大学生の就職内定率が84.6%（前年同期比0.3ポイント上昇）と依然として高い水準となっております。また、当連結会計年度より参入いたしましたスポーツ用品関連市場においては、健康意識の高まりやスポーツ人口の拡大を背景に、堅調な市場環境が継続しました。

このような経営環境の中、当社グループは「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時にスポーツが持つ可能性を様々なフィールドで発揮し、個人、法人、地域社会そして日本の発展に貢献すること」という経営理念のもと、従来のスポーツ人財（※1）に対する就職・採用支援に加え、新たにスポーツ用品の企画・販売を通じた競技生活の支援に取り組むなど、スポーツが持つ価値や可能性を高める事業活動を推進してまいりました。

（※1. スポーツに打ち込んだ経験を通じて社会・企業が求める高い価値を身につけた人財。新卒者においては、現役体育会学生、大学スポーツサークル・高校部活・クラブチーム等での競技経験者。既卒者においては、体育会出身者及び現役アスリートも含めたスポーツに打ち込んだ経験を持つ社会人）

なお、2025年10月1日より株式会社リンドスポーツが連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントは従来の「スポーツ人財採用支援事業」に加え、「スポーツ用品企画・販売事業」を追加しております。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

（スポーツ人財採用支援事業）

・新卒者向けイベント

新卒者向けイベントの当連結会計年度における売上高は1,967,452千円（前期比17.0%増）となり、過去最高売上高を更新しました。イベント開催数は、来場型・中小規模イベントの開催数が増加したことにより、前期実績を上回りました。販売枠数は、企業のイベント出展ニーズが依然として強く、主に来場型・中小規模イベントの販売枠数が増加し、前期実績を上回りました。2027年卒向けイベントの受注進捗は、2025年12月末時点で前期比11.6%増と、2026年卒向けイベントの実績を上回って推移しております。

・新卒者向け人財紹介

新卒者向け人財紹介の当連結会計年度における売上高は1,180,667千円（前期比10.9%増）となり、前期実績を上回り過去最高となりました。2026年卒のスポナビ累計登録者数は卒業前年度12月末時点において前期実績を上回りました。2026年卒ユニーク紹介学生数（企業に紹介した重複しない学生数）は前期比で増加、ユニーク紹介企業数（学生に紹介した重複しない企業数）についても、企業の旺盛な新卒採用ニーズを取り込むことにより、前期実績を上回りました。2026年卒のスポチャレ累計登録者数は前期実績を上回って推移しております。また、スポチャレの売上高は前期実績を上回り、新卒者向け人財紹介における売上高の増加に寄与しました。2027年卒のスポナビ及びスポチャレの累計登録者数はともに前期実績を上回って推移しております。

・既卒者向け人財紹介

既卒者向け人財紹介の当連結会計年度における売上高は1,096,306千円（前期比14.0%増）となり、過去最高の売上高となりました。第4四半期における新規登録者数は、前年同期実績を上回りました。年間における累計登録者数は前期実績を下回ったものの、ターゲティング広告の強化により有効な登録者を確保しております。ユニーク紹介人財数（企業に紹介した重複しない人財数）及びユニーク紹介企業数はともに前期実績を上回りました。スポーツ関連企業に特化

した就職・転職情報サイトであるスポジョバからの人財紹介案件への成約は、前期実績を上回り、既卒者向け人財紹介の売上高に寄与しました。

(スポーツ用品企画・販売事業)

スポーツ用品企画・販売事業は、2025年10月より連結化した株式会社リンドスポーツによるスポーツ用品の企画・販売事業です。第4四半期における売上高は353,534千円と、堅調な売上を維持しグループ全体の業績の押し上げに貢献いたしました。なお、セグメント利益には、のれん償却額として5,450千円、M&Aの実施に伴う一時的な費用として57,830千円を含んでおります。

売上原価に関しては、新卒者向けイベントにおけるイベント開催数及び開催費用の増加、スポンサーサービスの物品費用、スポーツ用品企画・販売事業の商品原価の計上により前期比で増加しました。

営業利益及び経常利益に関しては、成長のための投資により販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果がこれらを上回り、利益は前期実績を上回りました。人件費は、人員体制強化のための新卒採用社員・中途採用社員の入社により前期比で増加しました。地代・家賃は、既存オフィスの増床等により前期比で増加しました。広告宣伝費は、スポチャレ・スポナビキャリア及びスポジョバ等の更なる登録者獲得のための投資により前期比で増加しました。その他販管費については、人員増に伴う諸費用の増加及びM&Aの実施に伴う一時的な費用の計上により前期比で増加しました。

この結果、当連結会計年度における売上高は4,784,887千円(前期比24.4%増)、営業利益は1,078,874千円(前期比23.4%増)、経常利益は1,082,620千円(前期比24.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は783,538千円(前期比31.6%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は3,885,943千円となり、前連結会計年度末に比べ1,178,270千円増加しました。これは主に、2025年10月の株式会社リンドスポーツ連結子会社化に伴い、棚卸資産の受け入れにより流動資産が851,829千円増加、また、のれんの発生等に伴い固定資産が326,440千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は1,455,274千円となり、前連結会計年度末に比べ511,204千円増加しました。これは主に、未払法人税等の増加に伴い流動負債が279,165千円増加、株式会社リンドスポーツの連結子会社化に伴う長期借入金の増加に伴い固定負債が232,038千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は2,430,668千円となり、前連結会計年度末に比べ667,066千円増加しました。これは主に、利益剰余金が666,883千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は1,778,220千円となり、前連結会計年度末に比べ73,970千円増加しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における営業活動の結果、増加した資金は863,726千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上1,082,620千円、法人税等の支払287,570千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における投資活動の結果、減少した資金は578,502千円となりました。これは主に、株式会社リンドスポーツの連結子会社化に伴う株式の取得支出583,100千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における財務活動の結果、減少した資金は211,252千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出93,366千円、配当金の支払いによる支出116,564千円によるものです。

(4) 今後の見通し

2026年12月期の連結業績予想につきましては、スポーツ人財採用支援事業の持続的な成長と新規連結子会社とのシナジー創出により、売上高は6,470,000千円（前期比35.2%増）、営業利益は1,300,000千円（前期比20.5%増）、経常利益は1,300,000千円（前期比20.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は845,000千円（前期比7.8%増）と予想しております。なお、現行の中期経営計画の目標水準を1年前倒しで達成する見込みであることから、2026年3月に中期経営計画のアップデート版を公表する予定です。

上記に記載した業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準による連結決算を実施しており、当面は、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,704,249	1,778,220
売掛金	484,580	681,021
棚卸資産	-	552,167
その他	70,747	101,135
貸倒引当金	△1,369	△2,506
流動資産合計	2,258,208	3,110,038
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	250,273	266,222
工具、器具及び備品	89,236	135,306
減価償却累計額	△122,009	△171,822
有形固定資産合計	217,500	229,706
無形固定資産		
ソフトウェア	100	-
のれん	-	212,567
無形固定資産合計	100	212,567
投資その他の資産		
敷金	198,897	203,291
繰延税金資産	32,277	118,865
その他	688	11,472
投資その他の資産合計	231,862	333,629
固定資産合計	449,463	775,904
資産合計	2,707,672	3,885,943

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,793	39,383
1年内返済予定の長期借入金	91,702	115,082
未払金	102,232	90,686
未払費用	143,775	174,272
返金負債	43,986	90,677
未払法人税等	133,214	242,281
未払消費税等	70,753	105,159
賞与引当金	55,748	69,653
その他	96,694	114,866
流動負債合計	762,900	1,042,065
固定負債		
長期借入金	67,398	253,806
資産除去債務	110,108	117,634
その他	3,664	41,769
固定負債合計	181,170	413,209
負債合計	944,070	1,455,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,650	93,742
資本剰余金	83,350	83,442
利益剰余金	1,686,971	2,353,854
自己株式	△100,370	△100,370
株主資本合計	1,763,601	2,430,668
純資産合計	1,763,601	2,430,668
負債純資産合計	2,707,672	3,885,943

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,845,234	4,784,887
売上原価	179,422	454,116
売上総利益	3,665,811	4,330,771
販売費及び一般管理費	2,791,743	3,251,896
営業利益	874,068	1,078,874
営業外収益		
受取利息	161	2,868
受取配当金	0	0
助成金収入	-	200
保険解約返戻金	-	2,599
その他	26	598
営業外収益合計	188	6,266
営業外費用		
支払利息	1,595	2,207
自己株式取得費用	321	-
その他	281	313
営業外費用合計	2,198	2,520
経常利益	872,058	1,082,620
税金等調整前当期純利益	872,058	1,082,620
法人税、住民税及び事業税	263,173	371,031
法人税等調整額	13,589	△71,949
法人税等合計	276,762	299,082
当期純利益	595,295	783,538
親会社株主に帰属する当期純利益	595,295	783,538

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	595,295	783,538
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
包括利益	595,295	783,538
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	595,295	783,538
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	93,513	83,213	1,213,148	△375	1,389,498	1,389,498
当期変動額						
新株の発行	137	137			274	274
剰余金の配当			△121,472		△121,472	△121,472
親会社株主に帰属する当期純利益			595,295		595,295	595,295
自己株式の取得				△99,994	△99,994	△99,994
当期変動額合計	137	137	473,822	△99,994	374,102	374,102
当期末残高	93,650	83,350	1,686,971	△100,370	1,763,601	1,763,601

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	93,650	83,350	1,686,971	△100,370	1,763,601	1,763,601
当期変動額						
新株の発行	91	91			183	183
剰余金の配当			△116,655		△116,655	△116,655
親会社株主に帰属する当期純利益			783,538		783,538	783,538
自己株式の取得					-	-
当期変動額合計	91	91	666,883	-	667,066	667,066
当期末残高	93,742	83,442	2,353,854	△100,370	2,430,668	2,430,668

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	872,058	1,082,620
減価償却費	31,926	36,565
のれん償却額	-	5,450
長期前払費用償却額	-	62
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△136	△507
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,046	12,357
返金負債の増減額 (△は減少)	△3,579	46,691
受取利息及び受取配当金	△162	△2,868
支払利息及び割引料	1,595	2,207
自己株式取得費用	321	-
助成金収入	-	△200
売上債権の増減額 (△は増加)	△59,625	△85,289
棚卸資産の増減額 (△は増加)	-	△7,122
前渡金の増減額 (△は増加)	△3,824	23,254
前払費用の増減額 (△は増加)	△12,442	△4,064
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,012	1,314
未払金の増減額 (△は減少)	27,027	△28,706
未払費用の増減額 (△は減少)	15,709	27,570
前受金の増減額 (△は減少)	17,123	4,628
預り金の増減額 (△は減少)	7,856	9,363
その他	△6,972	27,145
小計	893,935	1,150,473
利息及び配当金の受取額	162	2,868
利息及び割引料の支払額	△1,644	△2,244
助成金の受取額	-	200
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△273,149	△287,570
営業活動によるキャッシュ・フロー	619,303	863,726
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,011	-
有形固定資産の取得による支出	△29,851	△39,975
敷金及び保証金の差入による支出	△29,819	△9,220
敷金及び保証金の回収による収入	-	738
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△583,100
その他	-	53,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,659	△578,502
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△100,032	△93,366
株式の発行による収入	274	183
配当金の支払額	△121,402	△116,564
自己株式の取得による支出	△100,316	-
リース債務の返済による支出	△1,311	△1,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	△322,787	△211,252
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	246,856	73,970
現金及び現金同等物の期首残高	1,457,392	1,704,249
現金及び現金同等物の期末残高	1,704,249	1,778,220

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当連結会計期間の期首から適用しております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(企業結合等関係)

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

名称	株式会社リンドスポーツ
事業内容	スポーツ用品の企画・販売

② 企業結合を行った主な理由

当社は、「日本を代表するスポーツカンパニーへの飛躍」という経営ビジョンの実現に向け、M&Aを積極的に推進しています。株式会社リンドスポーツは、30年以上の実績を持つ、スポーツ用品の企画・販売会社です。特にプロチームや全国の学校等から高い支持を得ており、この顧客ネットワークは、当社の事業と高い親和性があります。

本件株式取得により、就職支援と競技生活を同時にサポートできるようになることで、経営ビジョンの実現ならびに当社グループの企業価値向上に寄与するものと判断し、株式会社リンドスポーツの株式を取得(子会社)することといたしました。

③ 企業結合日

2025年10月1日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

(2) 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2025年10月1日から2025年12月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	665,000千円
取得原価		665,000千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 57,830千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

218,018千円

なお、上記の金額は、企業結合日以後、決算日までの期間が短く、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

主として今後の事業展開により期待される超過収益力から発生したものであります。

- ③ 償却方法及び償却期間
10年間にわたる均等償却

- (6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	780,939千円
固定資産	87,213〃
資産合計	868,153〃
流動負債	122,641〃
固定負債	298,530〃
負債合計	421,172〃

- (7) 企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

売上高	1,533,902千円
営業利益	50,404〃

(概算額の算定方法)

企業結合が連結会計年度開始の日に完了したと仮定した場合の売上高及び損益情報を算定しております。また企業結合時に認識されたのれん等が当連結会計年度開始の日に発生したものとし、償却額の調整を行い算出しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社はサービスの性質により分類されたセグメントから構成されており、「スポーツ人財採用支援事業」及び「スポーツ用品企画・販売事業」の2つを報告セグメントとしています。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「スポーツ人財採用支援事業」は、3つのサービスで構成されております。新卒者向けイベント事業、新卒者向け人財紹介事業、既卒者向け人財紹介事業のサービスを提供しております。

「スポーツ用品企画・販売事業」は、主にスポーツ用品の企画・販売を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、株式会社リンドスポーツが連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「スポーツ人財採用支援事業」に加え、「スポーツ用品企画・販売事業」を追加しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、「3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報」の前連結会計年度に記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	スポーツ人財 採用支援事業	スポーツ用品 企画・販売事業	計		
売上高					
新卒者向けイベント売上高	1,681,357	-	1,681,357	-	1,681,357
新卒者向け人財紹介売上高	1,064,911	-	1,064,911	-	1,064,911
既卒者向け人財紹介売上高	962,056	-	962,056	-	962,056
物販売売上高	-	-	-	-	-
その他売上高	136,909	-	136,909	-	136,909
顧客との契約から生じる収益	3,845,234	-	3,845,234	-	3,845,234
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,845,234	-	3,845,234	-	3,845,234
セグメント間の内部売上高	-	-	-	-	-
計	3,845,234	-	3,845,234	-	3,845,234
セグメント利益	874,068	-	874,068	-	874,068
その他の項目					
減価償却費	31,926	-	31,926	-	31,926
受取利息	161	-	161	-	161
支払利息	1,595	-	1,595	-	1,595

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	スポーツ人財 採用支援事業	スポーツ用品 企画・販売事業	計		
売上高					
新卒者向けイベント売上高	1,967,452	-	1,967,452	-	1,967,452
新卒者向け人財紹介売上高	1,180,667	-	1,180,667	-	1,180,667
既卒者向け人財紹介売上高	1,096,306	-	1,096,306	-	1,096,306
物販売売上高	-	353,534	353,534	-	353,534
その他売上高	186,926	-	186,926	-	186,926
顧客との契約から生じる収益	4,431,352	353,534	4,784,887	-	4,784,887
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	4,431,352	353,534	4,784,887	-	4,784,887
セグメント間の内部売上高	-	285	-	△285	-
計	4,431,352	353,820	4,785,173	△285	4,784,887
セグメント利益	1,113,794	△34,912	1,078,881	△7	1,078,874
その他の項目					
減価償却費	35,923	642	36,565	-	36,565
受取利息	2,790	78	2,868	-	2,868
支払利息	1,358	848	2,207	-	2,207

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	スポーツ人財 採用支援事業	スポーツ用品 企画・販売事業	計	
当期償却額	-	5,450	5,450	5,450
当期末残高	-	212,567	212,567	212,567

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	241円89銭	331円50銭
1株当たり当期純利益	81円21銭	107円28銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	79円16銭	105円54銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	595,295	783,538
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	595,295	783,538
普通株式の期中平均株式数(株)	7,330,732	7,303,571
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	595,295	783,538
普通株式増加数(株)	189,458	120,285
(うち新株予約権(株))	(189,458)	(120,285)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。